

単元名	俳句を作ってコンクールに応募しよう！（「俳句の可能性」光村3年）	2 時間
単元の目標	<p>＜教科（国語科）の目標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「俳句の可能性」を読み、俳句の表現意図による語句の使い分けに着目しながら五感を磨き、俳句の基本を理解する。</li> <li>・学んだ俳句の基本原則をもとに、教科書の俳句から作者の表現意図を考えながら鑑賞する。</li> <li>・「俳句の創作教室」に沿って、自分の俳句を作る。</li> </ul> <p>＜イベントにむけての目標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句のコンテスト（週刊 NY 生活）への出品を目標にすることで、意欲をもって学習することができる。</li> </ul>	
日本語の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句を鑑賞し、作る上で必要な学習語彙を理解する。 （定型、季語、有季定型、切れ字、自由律俳句、無季俳句、等）</li> <li>・教師のモデル文をもとに、教科書に掲載されている俳句の中から友達にプレゼントしたい俳句を選び、その理由を書くことができる。 「～さんは～だと聞いたことがあります。」 「この俳句を読んだとき、～という情景が目には浮かびました」 「～さんの～というところに、この俳句はよく合っていると思います。」</li> </ul>	
学習課題	俳句の基本原則を理解し、先人の俳句を鑑賞する。学習したことを生かし、自分の俳句を作る。	
主な学習活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 教科書「俳句の可能性」を通し、俳句の基本原則を理解する。</li> <li>② 教科書に掲載されている俳句を鑑賞する。</li> <li>③ 教科書の「俳句の創作教室」に沿って、俳句を作る。</li> </ol>	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句の基本を理解している。</li> <li>・俳句の鑑賞を通じて、作者の意図や表現の工夫を分析できる。</li> <li>・学習したことを踏まえて、意欲的に俳句を作ることができる。</li> </ul>	

## 学習活動計画

時	内容	活動	ポイント
1	俳句の基本を理解する。	<p>めあて</p> <p>「俳句の可能性」から俳句の基本を学び作品を鑑賞しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教科書本文を読み進めながら、俳句の基本を確認する。 ・「定型」「季語」「有季定型」「切れ字」</li> <li>● 「歳時記」の意味と使い方を知る。</li> <li>● 先人の俳句から、俳句の基本を読み取る。</li> <li>● 先人の俳句を鑑賞しながら、俳句を作る上で作者は何を大事だと考えているのかを理解する。</li> <li>● 教科書に掲載されている俳句から気に入ったものを選び、その理由を書く。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教科書に掲載されている作品の中から、友達にプレゼントしたい俳句を選び、その理由を書く。 ・誰にどの句をプレゼントしたいのか。 「私が～さんにプレゼントしたいのは～という～の俳句です」 ・プレゼントしたい理由 「～さんは～だと聞いたことがあります。」 「この俳句を読んだとき、～という情景が目には浮かびました」 「～さんの～というところに、この俳句はよく合っていると思います。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解がすすむよう。ワークシートを用意する。</li> <li>・各俳句で必ず「定型」「季語」「切れ字」等確認させる。</li> <li>・作者の句から情景が思い起こせるよう支援する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだこと、確認したことを想起しながら記入させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の例文を用意し、記入の参考にさせる。</li> </ul>
2	ワークシートを使って友達と話し合う。	<p>めあて</p> <p>学んだことを踏まえて、俳句を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 俳句を作る前に前時で学んだことを確認する。</li> <li>● 俳句を作り易いように、夏の季語からイメージを膨らませる。</li> <li>● 教師の例をもとに、俳句の作り方の流れをつかむ。</li> <li>● 「ユニークな夏の季語」をみんなで考えることで語感を磨き、季語への理解を深める。</li> <li>● 学んだ俳句の作り方をもとに、自分で俳句を作る。</li> <li>● 教師や友達とのやりとりを通して、発想を広げたり、作品の改善につなげたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週刊 NY 生活への出品という「目的意識」を持たせ、意欲を喚起する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏をイメージしながらブレインストーミングをすることで語感を磨く。</li> </ul>
	家庭学習課題		